

2016-2017 年度 第 1716 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：安齋誠一 幹事：関口 隆 広報委員会リーダー：酒澤伸二

例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ ≪水曜 12：30≫

事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内

TEL:028-635-5511 (ホテルニューイタヤ)

3 月 第 3 例会

2017 年 3 月 15 日(水)



会員数 51 名 出席 26 名

司 会

田島 久夫 S. A. A

- ローターソング「それでこそロータリー」

ビジター紹介

藤島 拓 委員長

- 石川 努 様(宇都宮南高等学校 教諭 インターアクト南風倶楽部顧問)
- 大越 司 君(宇都宮南高等学校 インターアクト南風倶楽部元会長・卓話者)
- 芝田彰吾 君(宇都宮南高等学校 インターアクト南風倶楽部元副会長・卓話者)

会長挨拶

坂本 昭一 副会長

皆さんこんにちは。

本日は、安齋会長がベトナムの孤児院バンブーフームハウスに創立 35 周年式典の打合せに行っております。

宇都宮南高等学校およびインターアクト南風倶楽部を今年卒業されました、大越君と芝田君、そして顧問の石川先生に卓話をさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

岩本 一男 副幹事

§ 本日の幹事報告はありません。

次年度幹事報告

藤島 拓 次年度幹事

§ 次週、3 月 22 日(水)例会終了後、第 1 回次年度理事会を開催致します。

委嘱状

§ 藤井康夫 会員 第 2550 地区 会員組織委員会 委員

§ 関 享一 会員 第 2550 地区 インターアクト委員会 委員

スマイルBOX 委員会報告

嶋田 辰雄 委員長

- § 坂本昭一副会長 本日の卓話、宇都宮南高等学校インターアクト南風倶楽部、担当顧問の石川先生、卓話者の大越様 芝田様、よろしくお願い致します。
- § 岩本一男副幹事 今日はインターアクト南風倶楽部の方々、卓話よろしくお願い致します。
- § 鈴木秀明会員 南風倶楽部、の皆さん頑張ってください。
- § 藤島 拓会員 南高校インターアクト南風倶楽部の大越君 芝田君卒業おめでとうございます!! いつの日か南 RC に入会していただける日を楽しみにお待ちしております!!
- § 山本敬三会員 南風倶楽部、の皆様、お出でいただきありがとうございます! また、ご卒業おめでとう!
- § 磯貝 太会員 大越君 芝田君、2人の卓話に期待しています。
- § 喜内敏夫会員 先週の土・日で山岳連盟の雪山講習会で那須岳へ行き、日焼け止めクリームを一部塗り残してお猿さんのように赤くなりました。
- § 仲田俊夫会員 春の便り「イカナゴ」が届きました。暦の上ではもう春ですが、まだまださむさが続きます。寒さに負けずに頑張りましょう。
- § 田中正夫会員 今日は申告期限ですが例会にきました。
- § 長谷川博夫会員 綺麗な花、ロータリーから妻に届きました。ありがとうございます。それと先週の土曜日、ホーチミン市のバンブーフームハウスとローズハウスに行ってきました。いろいろと安齋会長に案内してもらいました。
- § 桑田豊豪会員 先日は野球部の総会に参加させていただき、ありがとうございます。できる事から頑張っていきたいと存じます。よろしくお願い致します。
- § 嶋田辰雄会員 スマイルの年間目標額 100 万円にあと 21 万円程になりました。引き続きご協力お願い致します。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました 今週の金額 13,000 円

宇都宮南高等学校インターアクト南風倶楽部 卓話

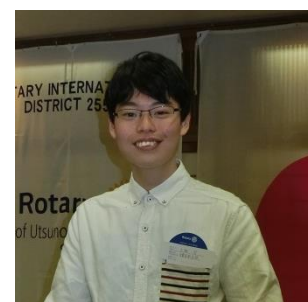
教諭 石川 努 様
元会長 大越 司 君・元副会長 芝田 彰吾 君



「自己の成長～会長としての活動を通して～」
南風倶楽部 元会長 大越司

私は、宇都宮南高校のインターアクトクラブ、南風クラブで会長を務めさせていただきました。

一番印象深い体験は、人前で話すことです。最初に大勢の人の前で



話したのは、まだ私が副会長だったころになりますが、足利短期大学付属高校で行われた年次大会だったと記憶しています。

ステージの上に立ち、話すべきことを頭に浮かべ、マイクの上に立つ。この間に様々な失敗が頭をよぎります。もし噛んでしまったら…話す内容を忘れてしまったら…等。終わったときには脂汗をたくさんかいていました。このときは幸いにもうまくいきました。「よかった。」とほめて下さる方もいました。これはよい成功体験になりました。

しかしながら、毎回うまくいくわけではなく、ある時、私は失敗をしてしまいます。それは以前にこの場をお借りしたときのことです。ロータリークラブの皆様にご感謝を述べる内容だったのですが、あまりにも短く、とても粗末な発表になってしまったのです。

しかし、その時の失敗は決して無駄にはなりません。時間をかけて文を推敲し、何度も読む練習をする。当たり前のことですが、しっかりと行い、高校最後の年次大会での活動報告はうまく行うことが出来ました。このような経験は様々な事に活かせると思います。また、人間関係についても多くの体験を積むことが出来ました。RYLAセミナーの模擬国連では、どの様に接すれば相手は自分を信用して話を聞いてくれるのか、どのようにすれば場をまとめることが出来るのか、といったことが学べました。そこで私はリーダーシップ身につけることが出来たのです。これは私の自己実現を成し遂げるために、この先の人生で大いに役立つことは間違いありません。

同様に国際交流も私に大きな変革を与えました。台湾との交流で、私は二度も台湾に行かせていただいたのですが、二回ともよい経験になりました。なんとといっても、私はそれまで海外に行ったことはなく、飛行機に乗ったことすらありませんでした。

台湾は日本との関係が深いこともあり、共通点も多くみられます。しかし、言葉も違えば、空気も違います。コミュニケーションをとるうえで、大変厳しい局面に幾度となく直面し、言葉の壁を実感しました。副会長のときには携帯の翻訳機能を使ったり、先輩方にアドバイスをいただいたりしました。会長になってからは、前回の教訓を活かして、あらかじめ手帳に文を作ってメモしておいたり、それから、アメリカに住んでいた経験を持つ友人に英語の発音を教えて貰ったりもしました。当時は苦しくも思いましたが、今考えると、あの四苦八苦した経験もとても素晴らしいものであったと思います。

大変なことと言えば、台湾との交流会で、歌の指揮をさせていただいたことも私の記憶に鮮明に残っています。一切音楽経験のない私が選ばれた理由はわかりませんが、きっとそういう運命だったのだろうとおもいます。とても貴重な体験だったので、そのような機会を与えて下さったことに感謝しています。

もちろん楽しい思い出もたくさんあります。台湾は日本よりも南に位置することもあり、美しくエキゾチックな自然が広がっていました。他にも温かい人々や文化と歴史…何一つとっても新鮮に感じられました。特に関さんと一緒に九份を登らせていただいたことはよい思い出になりました。このようにインターアクトで築くことのできた関係がこれからも続くようよろしくお願いします。

また、留学生との交流もとても良い経験になりました。アメリカやフランスから来た方々との交流をさせていただいたのですが、中でもフランスからの留学生であるソフィアンさんとロリーンさんは、南風倶楽部の方で、地元の人々との交流会や歓迎会を企画させていただいたりしましたので、何度も交流する機会がありました。そういった一連の出来事で、グローバル化を感じました。勿論、街中で外国の人々を目にすることは珍しいことではありません。ですが、直接話をする機会はめったにありません。フランスの小麦粉を風船に詰める遊びや、二人の故郷の話はとても興味深く、また、世界の広さを実感しました。

そして、歓迎会などのような企画を立てた経験もまた、印象に残っています。地域の人々と交流するために、様々な企画を考えだしました。残念ながら、すべて成功というわけにはなりませんでしたが、そこから得られた教訓も少なくはありません。

企画の見本とするために地域の行事に参加したりもしました。メモを片手に運営している方の話を聞かせていただいたり、そこで地元の人と顔見知りになったり…これまでの私にはそのような行動力はありませんでしたが、会長としての自覚や、皆様の期待にこたえたいという思いが行動力になりました。

以上のインターアクトで得られた体験は高校生活を充実させるだけでなく、この大越司の人間形成において、大きな発展をもたらしました。この貴重な経験を得ることが出来たのは活動の場を設けてくださったロータリアンの皆様のおかげです。本当にありがとうございます。この感謝と経験を胸に、これからの暮らしを送り、自分の夢の実現に、ひいては社会のために行かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



「今まで見えなかったこと～国際的な視野を広げて～」

南風倶楽部 元副会長 芝田彰吾

今から、私が約2年半インターアクトの活動を通して得た経験と新潟大学法学部の推薦入試にどのように生きたのか話していきたいと思えます。よろしくお願ひします。



まず初めに、私がこの学校生活で、様々な貴重な体験をすることが出来たのはここにいる皆様をはじめ、ロータリークラブの方々の支援があつてのことでした。たくさんの活動をさせていただき、私は成長することが出来ました。本当にありがとうございました。

私がインターアクトに入ったきっかけは、青年海外協力隊などの国際ボランティアに興味があり、1年生のときに担任の先生に相談したところ、インターアクトを勧められたことです。私は、インターアクトの活動で、地域的な活動以上に国際的な活動に興味がありました。ですが、愛パーク栃木や、スペシャルオリンピックス、植樹活動などの地域的な活動を通して、地域の人と触れ合うことで地域とつながりを持つことの大切さを学ぶことが出来ました。

そして、国際的な活動では、たくさんのかけがえのない出会いがありました。それはフランス人留学生のソフィアンとロリーン、台湾の光華高級中学の元生徒会長の呉くんなどです。ソフィアンとロリーンとは、インターアクトの活動がきっかけで仲良くなり、お互いの文化について話をしたり、一緒にロリーンの誕生日にボウリングをして遊んだりしました。彼らに日本語を教えるときに、それがどういう意味なのか、教えるためにジェスチャーを使ったり、似た単語で説明したりすることで、最初はわからなかったことも、理解してもらうことが出来ました。日本のことを外国の人に説明するという経験は、私にとってかけがえのないものとなりました。そして、台湾の呉くんとは、私が2年のとき、2月の台湾ロータリークラブの歓迎パーティーのときに知り合いました。そこではあまり話すことが出来ませんでした。その時に面識があつたおかげで、3月の台湾研修の際、呉くんとあつたときにとてもよくしていただきました。そして呉くんは台湾のことをいろいろ教えてくれました。おいしい食べ物や自分の通つてる学校のこと、会話はすべて英語だったのですが、お世辞にも私は英語が上手に話せません。それでも、呉くんは私が慌てていてもしつかり最後まで聞いてくれて、私が聞き取れない時もジェスチャーを使ったり、スマホのアプリを使ったりと様々な手

段で教えてくれました。自分の気持ちを相手に伝えようとする姿勢は同じなんだと、なんだか安心しました。ソフィアン、ロリーン、呉くん以外にも、たくさんの人との出会いが、私が国際交流において得られた経験が、私の糧となるものでした。私は、国際的な活動を通して、とても大切だと思ったことがあります。それは、それぞれの文化を理解しようとする気持ち、自分とは違うんだと壁を作らないで相手のことを知ろうとする気持ち、これらのことが、国際交流をするうえで大切なことなのではないかと考えます。そして、インターアクトを通してできたつながりを、高校を卒業したからと切らずに、これからも保ち続けていくことも大切だと考えます。

次に私が、新潟大学法学部の推薦入試に、どのようにインターアクトの活動が生きたのか話していこうと思います。まず、大学の推薦入試方法が、自己申告書と言われる事前提出の小論文が二つ、そして、二〇分程度の面接でした。インターアクトの活動が生きたのは自己申告書の一つ、そして面接でした。そこでは主に国際関係の話が興味を持たれました。自己申告書の一つは、テーマが「世界政府論について、主権国家体制に照らして、あなたの考える平和の定義を示しながら、あなたの考えを2,000字程度で述べなさい。」というものでした。そこで、私は、戦争が起こらないようにするためには、話し合いを続けることが大切と述べました。それは、相手に、意図が伝わらないからと言って話し合いを諦めてしまわないで諦めず何度も何度も続けることが大切ということです。そのことは、先ほど言いましたが、フランス人留学生のソフィアンとロリーン、台湾の生徒と接したことで感じたことで、自分の気持ちを、方法を変えて、何度も伝えようとした経験があったからでした。そしてもう一つは、テロについて述べたときでした。最近の戦争は国家同士の戦争ではなく、国家とそれ以外のものに変化していて、それがテロとの戦いです。そこで、フランス同時多発テロが起きたとき、私のクラスにロリーンがいたので、彼女の故郷で起きた悲しい出来事に関して、彼女が悲しんだ様子を見て、自分まで悲しい気持ちになったということを書きました。これらの経験が、自己申告書の内容を深めることにつながり、試験管の人に興味を持ってもらうことにつながりました。

面接の方では、私が今まで、地域・国際関係でどのような活動をしたのか、国際関係は詳しく聞かれ、一番興味を持っていただいたのが台湾研修のことでした。台湾に行ったということが興味の引き金だったと思うのですが、研修ということで、自分の意志でそのような活動に参加したということが良かったのではないかと考えました。そのあとは私が大学はいったとき、国際の面で抱負のようなものはあるかと問われました。そこで私は留学のことについて述べました。留学先は、今までは欧米系の国に興味があったのですが、台湾と交流を持つことで今まで焦点を当てなかったアジアにも興味を持つことにつながりました。視野を広げることをできたのはインターアクトの活動があったからでした。以上のことが、私が新潟大学法学部の推薦入試で話したインターアクトについてのことでした。

最後になりますが、私が高校生活、他では得られない貴重な体験をさせていただいたこと、本当にありがとうございました。このことは、将来自分の視野を広げることに必ず生きると信じています。そして、これから先、高校生に希望の種をまく活動と、ロータリークラブの方々の益々の発展を願っています。本当にありがとうございました。ご清聴ありがとうございました。



出席報告

嶋田 辰雄 委員長

会員数 51 名 出席数 26 名 欠席数 25 名 出席率 59.09%
前々回 3 月 1 日 訂正率 68.18%



次回例会

2017 年 3 月 22 日 (水) 創立 35 周年記念式典事前打ち合わせ
喜内敏夫 実行幹事他